

短期予報解説資料 2025年12月23日03時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 日本海に高気圧があつて東へ移動。日本海西部と紀伊半島沖及び南西諸島は気圧の谷となっている。
- ② ①の高気圧の縁辺では気圧の傾きが大きくなり、南西諸島と西～東日本では、やや強い風や強い風が吹いて波が高くなりしけている所がある。
- ③ 500hPa 5400m付近のトラフに対応して低気圧がアムール川上流を東進。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の高気圧は、24日にかけて千島近海からカムチャツカ半島へ移動。
- ② 1項①の紀伊半島沖の気圧の谷には、24日朝には低気圧が発生し、2項①の高気圧が東に移動する影響もあつて850hPa 315K以上の暖湿気が流入する。また、24日朝までに500hPa 5700m付近の流れに対応して前線を伴った低気圧が発生し、25日にかけて本州の南岸を東進。さらに、23日朝までに500hPa 5580m付近のトラフに対応して前線が華中から黄海で顕在化し、23日夜までに低気圧が発生して、25日にかけて日本海から北日本を通して千島近海へ進む。気圧の谷や前線に向かって流入する暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所があり、全国的に雨となり、強い雨や激しい雨が降って大雨となる所がある。南西諸島と西日本では24日にかけて、東日本では25日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項③の低気圧は23日朝までには前線を伴い、閉塞点から発生した低気圧が、サハリンからオホーツク海へ進み、寒冷前線が北海道地方に接近する。この低気圧や2項②の低気圧や前線に向かって、850hPaで平年差+10℃以上の暖かい空気が北～西日本に流れ込む。2項②の降水の影響も加わり、多雪地では雪解けが進む。北～東日本では24日と25日は、融雪やなだれに注意。
- ④ 25日は2項②の低気圧や前線が日本の東に進むが、日本海西部に地上のシアーラインが顕在化する。また、500hPa 5400m付近のトラフに対応して低気圧が発生して日本海を東進する。25日夜には低気圧やシアーラインの後面で、850hPaで平年差-5℃以下の下層寒気が西日本へ流入し、シアーラインや低気圧の影響もあつて大気の状態が不安定となる。南西諸島と西～東日本では25日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ⑤ 2項①の高気圧縁辺や2項②③の低気圧や前線の周辺では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。南西諸島と西～東日本では25日にかけて、北日本では24日と25日は、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、本州南岸を進む低気圧はMSMやLFMを参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時からの24時間)：東海・近畿100mm。② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：伊豆諸島4、その他広い範囲で3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図